

2024年12月期 第2四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in white text on a dark blue rectangular background. The letters 'A', 'G', and 'C' are in a bold, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'G' and the 'C'.

AGC株式会社

2024年8月1日

Your Dreams, Our Challenge



2024年12月期 第2四半期業績	P.5
1. 業績のポイントと主要項目	P.6
2. セグメント別・地域別の状況	P.14
2024年通期業績の見通し	P.23
中期経営計画 AGC plus-2026 進捗	P.33
1. AGCグループの価値創造に向けた取り組み	P.34
2. 現中計期間の業績見通し	P.43
付属資料	P.46

本日のポイント① 2024年12月期第2四半期業績(累計)

2024年12月期第2四半期業績 (累計)

	前年同期比	
売上高	10,152 億円	+299億円
営業利益	567 億円	▲76億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	▲1,145 億円	▲1,551億円

親会社の所有者に帰属する当期純利益赤字化の主要因

- ロシア事業譲渡による関係会社株式売却損
(第1四半期計上済) ▲360億円
- バイオ医薬品CDMO事業の減損損失
(第2四半期計上) ▲1,183億円

- 売上高は建築ガラスや化学品の苛性ソーダ・塩化ビニル樹脂の販売価格の下落、ライフサイエンスのバイオ医薬品CDMOの受託売上減少があったものの、為替の増収効果や電子の売上増加により、前年同期比増収
- 営業利益は原燃材料価格が下落したものの、上述の販売価格下落およびバイオ医薬品CDMOの受託売上減少により、前年同期比減益
- 親会社の所有者に帰属する当期純利益は、その他費用として、ライフサイエンス（バイオ医薬品CDMO事業）に係る減損損失およびロシア事業の譲渡に伴う関係会社株式売却損が発生したことから、前年同期比大幅減益、赤字化

本日のポイント② 2024年12月期通期見通し

2024年12月期通期見通し（修正）

		従来予想比	前期比
売上高	21,000 億円	-	+807億円
営業利益	1,300 億円	▲200億円	+12億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	▲ 950 億円	▲1,480億円	▲1,608億円

配当予想

■ 変更なし

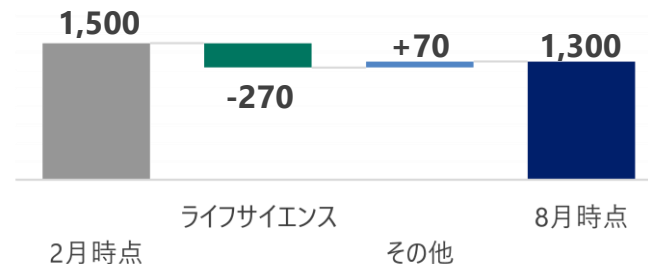
中間配当105円、期末配当105円

営業利益見通し修正の主要因

- ライフサイエンスが想定を大きく下回り、
他事業ではカバーできず、営業利益を下方修正

営業利益（見通し）

（億円）



2024年12月期 第2四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目



2024年12月期 第2四半期業績

* うち、為替差影響は+723億円、連結範囲変更の影響は▲110億円

(億円)

		FY2023 1-2Q累計	FY2024 1-2Q累計	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高		9,853	10,152	+ 299*	(+) 円安 (+) 電子部材の出荷増加や液晶用ガラス基板の販売価格上昇 (-) 建築用ガラスの販売価格下落 (-) 苛性ソーダ、塩ビの販売価格下落 (-) バイオ医薬品CDMO事業の受託売上減少
営業利益		643	567	▲ 76	(+) 原燃材料価格の下落 (-) 上記の販売価格下落 (-) バイオ医薬品CDMO事業の受託売上減少
税引前利益		660	▲ 924	▲ 1,584	上記に加え、 (+) 為替差益を計上 (-) ライフサイエンス（バイオ医薬品CDMO事業）に係るその他費用の計上 (-) ロシアでの建築ガラス・オートモティブ事業譲渡によるその他費用の計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		406	▲ 1,145	▲ 1,551	
為替レート (期中平均)	1USD	JPY 134.85	JPY 152.25		
	1EUR	JPY 145.79	JPY 164.60		
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	79.05	83.27		

2024年12月期 第2四半期 その他収益・費用内訳

■ キャッシュアウトを伴わない損失を計上

(億円)

	FY2024 1-2Q累計	備考
その他収益	152	
その他費用	▲1,624	
減損損失	▲1,192	ライフサイエンス バイオ医薬品CDMO事業関連(▲1,183) ① のれん ▲606(デンマーク、イタリア、米国) ② 有形固定資産およびのれん以外の無形資産▲577(米国)
連結対象会社の持分譲渡に伴う損失	▲365	ロシア子会社の事業譲渡関連(▲360)
固定資産除却損	▲17	
事業構造改善費用	▲13	
その他	▲38	

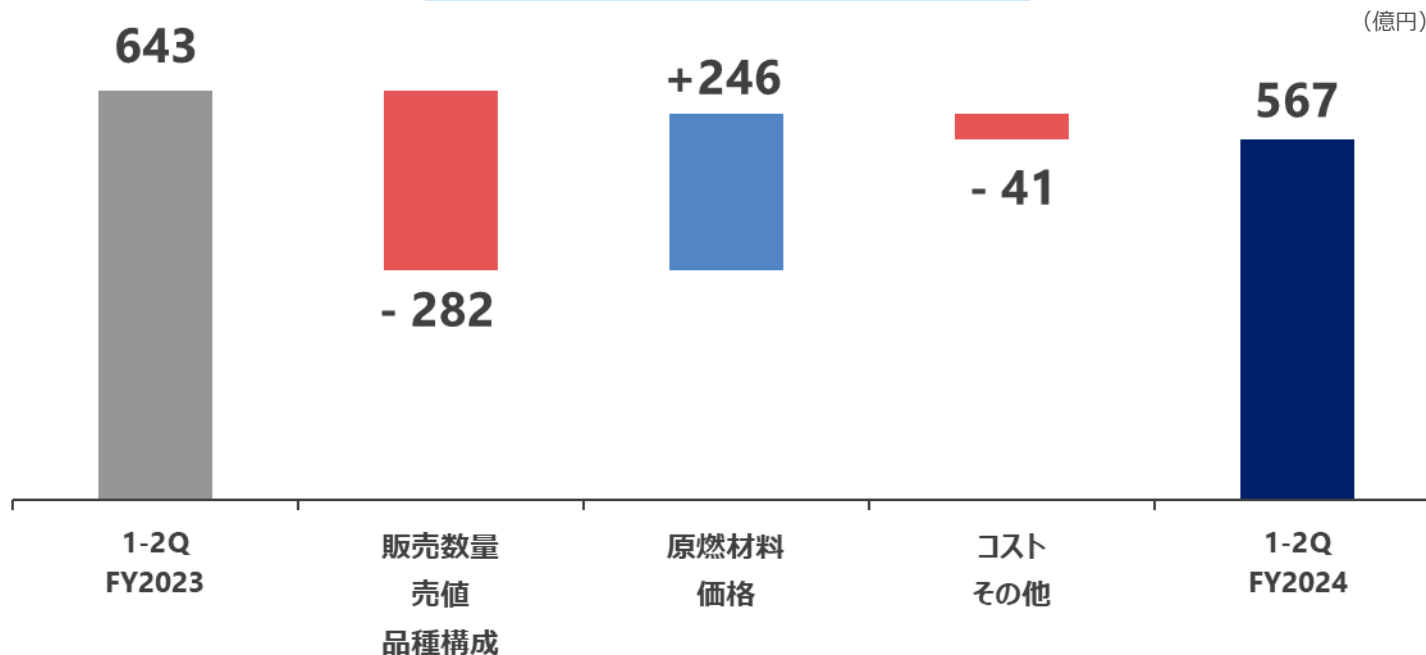
セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	FY2023 1-2Q累計 (a)		FY2024 1-2Q累計 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	2,398	186	2,247	102	▲ 151	▲ 84
 オートモーティブ	2,407	102	2,519	106	+ 112	+ 3
 電子	1,419	29	1,693	200	+ 274	+ 171
 化学品	2,828	309	2,904	277	+ 77	▲ 32
 ライフサイエンス	680	6	636	▲ 141	▲ 44	▲ 147
 セラミックス・その他	394	14	424	24	+ 30	+ 10
消去	▲ 273	▲ 3	▲ 271	0	+ 2	+ 3
連結合計	9,853	643	10,152	567	+ 299	▲ 76

営業利益増減要因分析(1-2Q FY2024 vs. 1-2Q FY2023)

前年同期比 76億円減益



連結財政状態計算書

	2023/12	2024/6	(億円) 増減
現金及び現金同等物	1,461	1,089	▲ 372
棚卸資産	4,541	4,731	+ 190
有形固定資産・無形資産及びのれん	16,312	16,368	+ 57
その他	7,017	7,387	+ 370
資産合計	29,330	29,576	+ 246
有利子負債	6,950	6,530	▲ 420
その他	5,836	6,017	+ 180
負債の部	12,787	12,547	▲ 240
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,471	14,770	+ 299
非支配持分	2,073	2,259	+ 186
資本の部	16,543	17,029	+ 485
負債及び資本合計	29,330	29,576	+ 246
D/E比率	0.42	0.38	

為替差影響
+1,102億円
減損影響
▲1,192億円

為替差影響
+1,767億円

為替差影響
+1,112億円

連結キャッシュフロー計算書

	(億円)	
1-2Q累計	FY2023	FY2024
税引前利益	660	▲ 924
減価償却費及び償却費	859	915
運転資金増減	▲ 403	▲ 145
その他	▲ 221	1,575
営業活動によるCF	894	1,422
投資活動によるCF	▲ 881	▲ 782
フリーキャッシュフロー	13	640
有利子負債増減	222	▲ 770
支払配当	▲ 233	▲ 223
その他	▲ 525	▲ 80
財務活動によるCF	▲ 536	▲ 1,072
現金等に係る換算差額等	115	61
現金等の増減額	▲ 409	▲ 372

減損損失の影響

+1,192億円

キャッシュアウトを伴わない
関係会社の売却による
損失の影響

+365億円

関係会社の売却による
キャッシュインの影響

+221億円

設備投資・減価償却費・研究開発費

1-2Q累計	FY2023	FY2024
設備投資額	1,052	1,196
建築ガラス	100	119
オートモーティブ [※]	116	132
電子	293	215
化学品	396	552
ライフサイエンス	139	160
セラミックス・その他	10	18
消去	▲ 1	▲ 0

1-2Q累計	FY2023	FY2024
減価償却費	859	915
建築ガラス	119	127
オートモーティブ [※]	156	161
電子	258	266
化学品	248	265
ライフサイエンス	68	87
セラミックス・その他	10	9
消去	▲ 1	▲ 1

(億円)

1-2Q累計	FY2023	FY2024
研究開発費	270	293

主な 設備投資 案件

- 東南アジアクロールアルカリ能力増強 (化学品)
- バイオ医薬品・合成医薬農薬CDMO能力増強 (ライフサイエンス)
- 電子部材関連製造設備増強 (電子)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- ディスプレイ製造窯修繕 (電子) など

2. セグメント別・地域別の状況

1-2Q累計

	FY2023	FY2024	増減
売上高	2,398	2,247	▲ 151*
アジア	759	739	▲ 20
欧米	1,633	1,496	▲ 137
(セグメント間)	6	12	+ 6
営業利益	186	102	▲ 84

* うち、為替差影響は+196億円、連結範囲変更の影響は▲60億円

(億円)

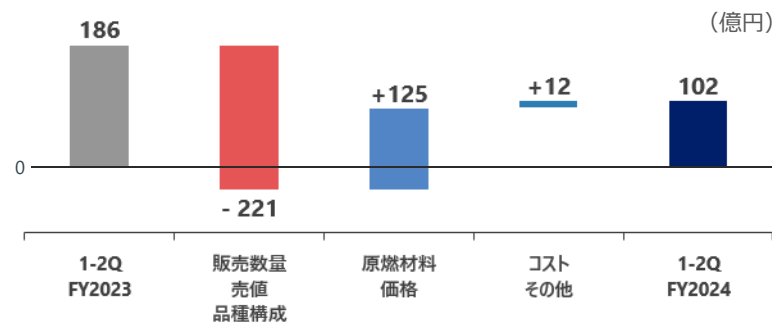
アジア

- 出荷が減少したことにより減収

欧米

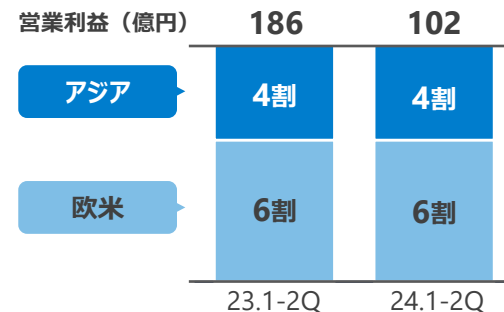
- 為替による増収効果はあったものの、欧州で販売価格が下落したことに加え、ロシア事業譲渡の影響により減収

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



1-2Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	2,407	2,519	+ 112*
オートモーティブ	2,405	2,518	+ 113
(セグメント間)	2	1	▲ 1
営業利益	102	106	+ 3

* うち、為替差影響は+210億円、連結範囲変更の影響は▲18億円

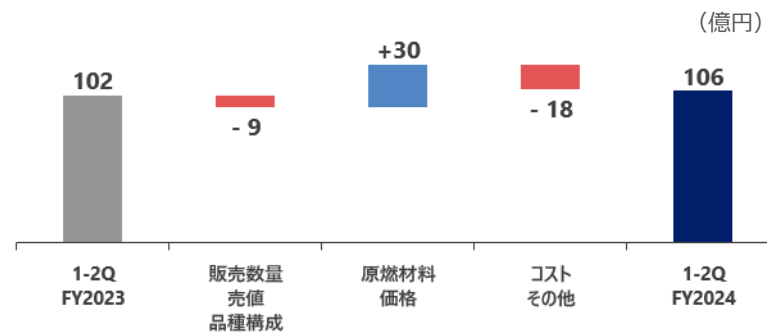
(億円)



自動車用ガラス

- 日本を中心に自動車生産台数が減少したことにより、当社グループの出荷は減少
- 為替による増収効果や販売価格の上昇があり増収

営業利益増減要因分析



1-2Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	1,419	1,693	+ 274*
ディスプレイ	783	901	+ 118
電子部材	631	785	+ 154
(セグメント間)	5	7	+ 1
営業利益	29	200	+ 171

* うち、為替差影響は+61億円、連結範囲変更の影響は▲25億円

(億円)



ディスプレイ

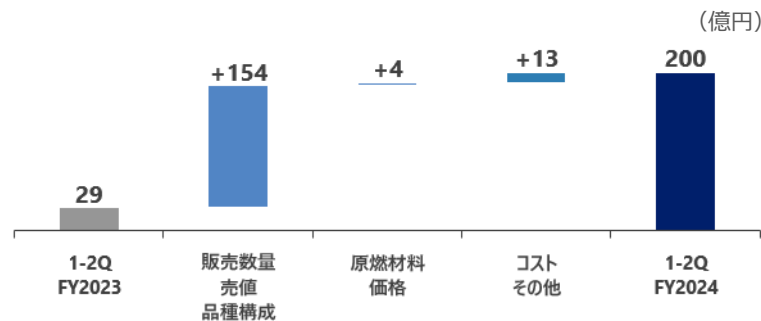
- 液晶用ガラス基板の出荷増加や販売価格上昇等により増収



電子部材

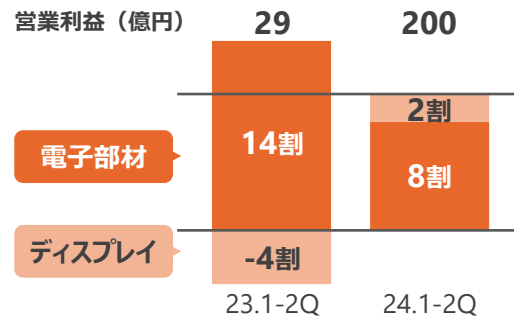
- EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連製品やオプトエレクトロニクス用部材の出荷が増加したことに加え、為替の効果もあり増収

営業利益増減要因分析



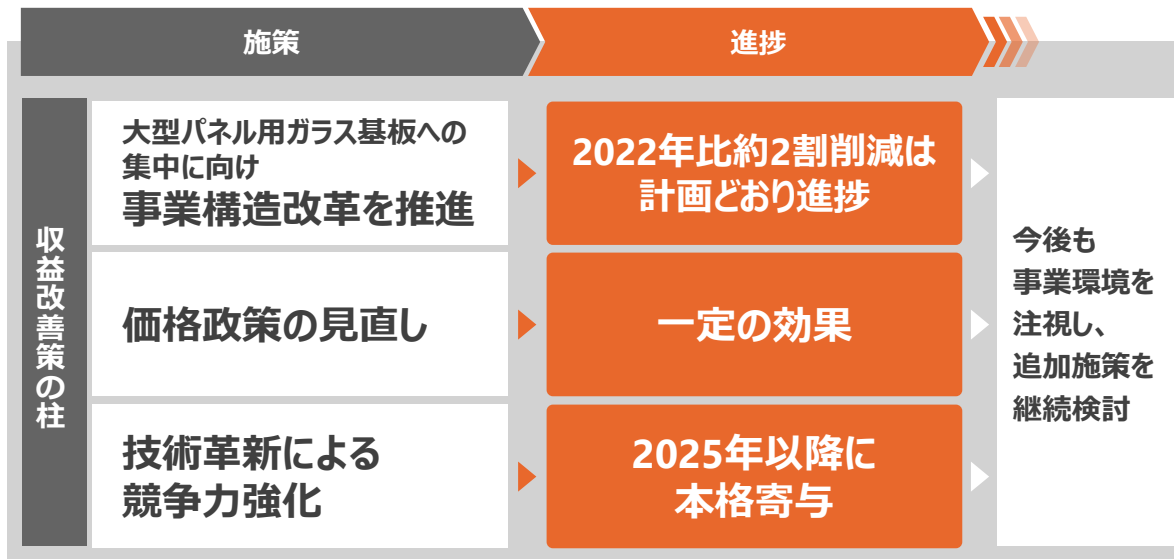
営業利益 構成比

共通費配賦前

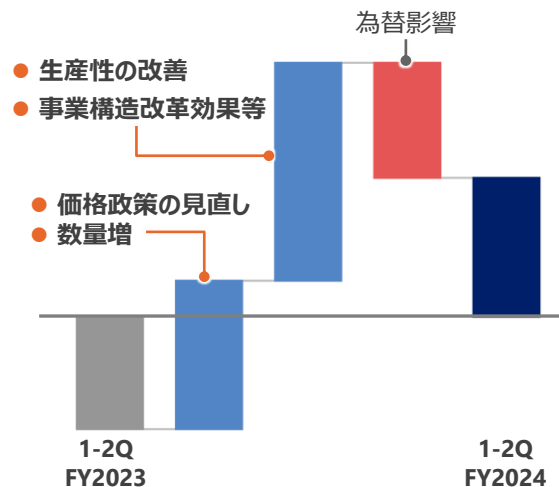


ディスプレイ事業改善の進捗状況

- 事業構造改革、価格政策などの施策は計画どおり進捗
- 生産性の改善もあり為替影響を吸収して収益が改善



ディスプレイ事業営業利益改善イメージ



1-2Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	2,828	2,904	+ 77*
エッセンシャルケミカルズ	2,008	2,012	+ 4
パフォーマンスケミカルズ	798	874	+ 76
(セグメント間)	22	19	▲ 3
営業利益	309	277	▲ 32

* うち、為替差影響は+192億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

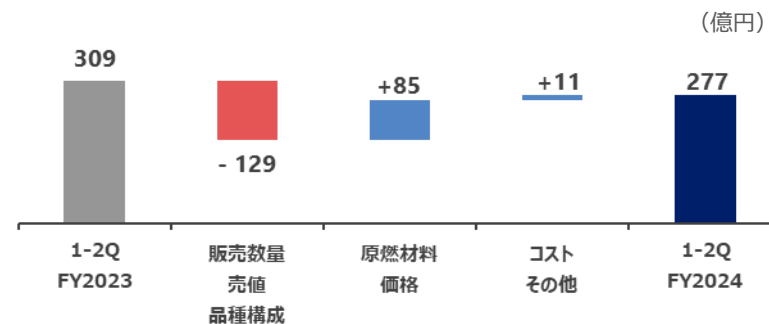
エッセンシャルケミカルズ

- 為替による増収効果があったものの、苛性ソーダ、塩ビの販売価格が下落し、売上高は横ばい

パフォーマンスケミカルズ

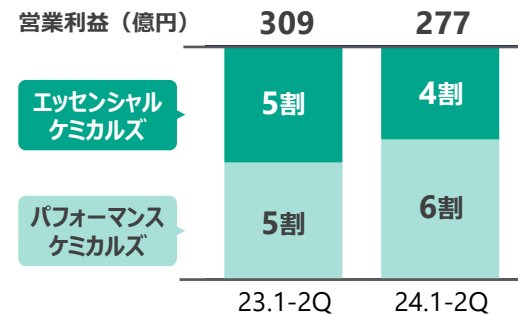
- 為替の影響や販売価格の上昇により増収

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



1-2Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	680	636	▲ 44*
ライフサイエンス	667	616	▲ 51
(セグメント間)	13	20	+ 6
営業利益	6	▲ 141	▲ 147

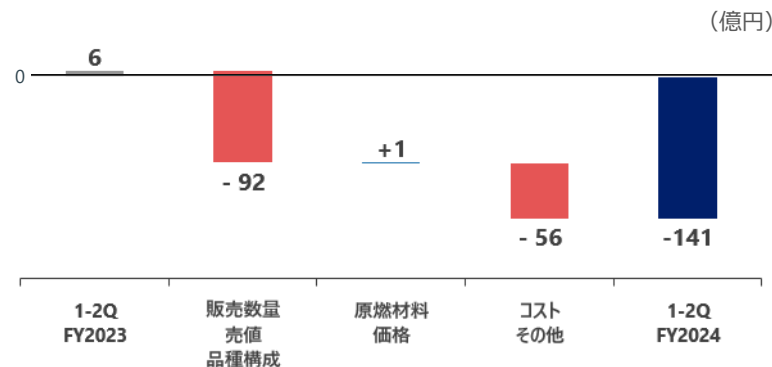
* うち、為替差影響は+57億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

ライフサイエンス

- コロナ特需の消失、バイオベンチャーへの資金流入減、農薬市場の在庫調整の影響等により減収
- バイオ医薬品CDMOにおける能力増強に伴う先行費用等が発生

営業利益増減要因分析

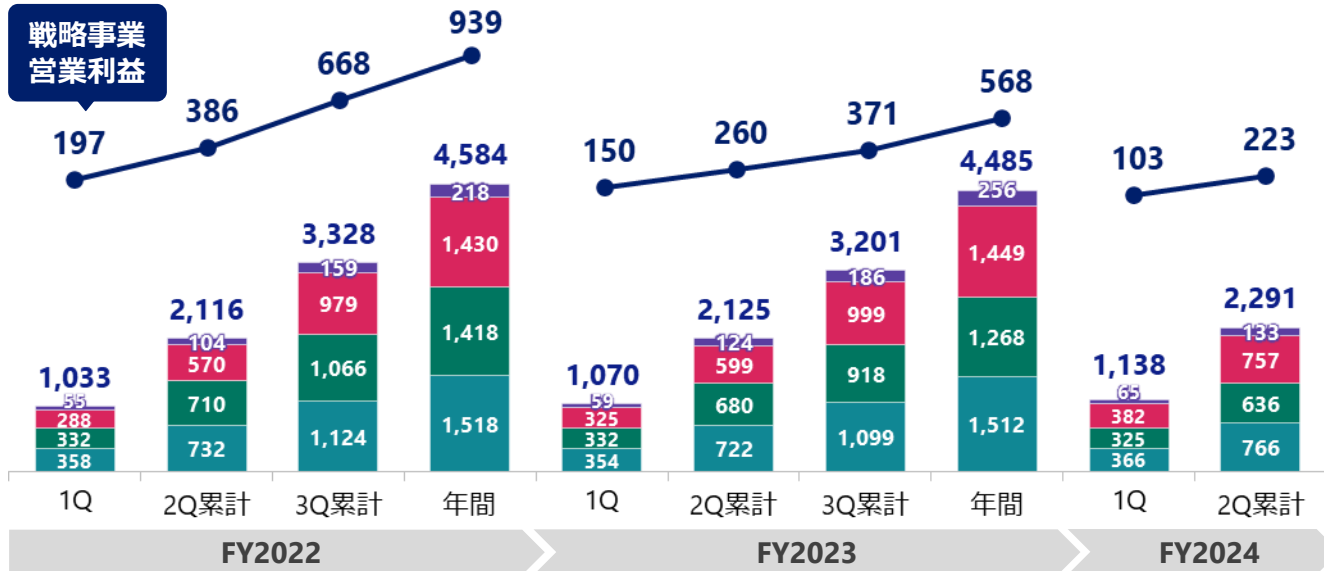


戦略事業の利益貢献

- エレクトロニクス関連製品やパフォーマンスケミカルズの販売は堅調も、バイオ医薬品CDMOの収益悪化により前年同期比減益

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向けの高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材

ライフサイエンス

- 合成医薬品CDMO
- バイオ医薬品CDMO

パフォーマンスケミカルズ

- 多業界向け高性能フッ素製品

地域別業績 前年同期比較

	(億円)		
1-2Q累計	FY2023	FY2024	増減
売上高	9,853	10,152	+ 299
日本・アジア	6,055	6,268	+ 213
アメリカ	1,098	1,285	+ 187
ヨーロッパ	2,700	2,598	▲ 102
営業利益	643	567	▲ 76
日本・アジア	631	795	+ 163
アメリカ	▲ 4	▲ 63	▲ 60
ヨーロッパ	243	81	▲ 162
地域共通費用	▲ 227	▲ 245	▲ 18

為替差影響

+723億円

連結範囲変更の影響

▲110億円

2024年通期業績の見通し

2024年 通期業績見通し

- バイオ医薬品CDMO事業が想定を大きく下回った影響に加え、同事業減損により、親会社の所有者に帰属する当期純利益は前年比および期初想定比で減益となる見通し

		(億円)		
		FY2023	FY2024e (8/1 予想)	FY2024e (2/7 予想)
売上高		20,193	21,000	21,000
	(上期)	9,853	10,152	10,000
営業利益		1,288	1,300	1,500
	(上期)	643	567	600
税引前利益		1,228	▲ 420	1,050
親会社の所有者に帰属する当期純利益		658	▲ 950	530
1株当たり配当 (円)		210	210	210
営業利益率		6.4%	6.2%	7.1%
ROE		4.6%	▲ 6.6% *	3.7% *
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 140.6	JPY 151.0	JPY 140.0
	1 EUR	JPY 152.0	JPY 163.0	JPY 160.0
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	82.1	85.0	85.0
エチレン (CFR SEA)	USD/MT	889	980	980

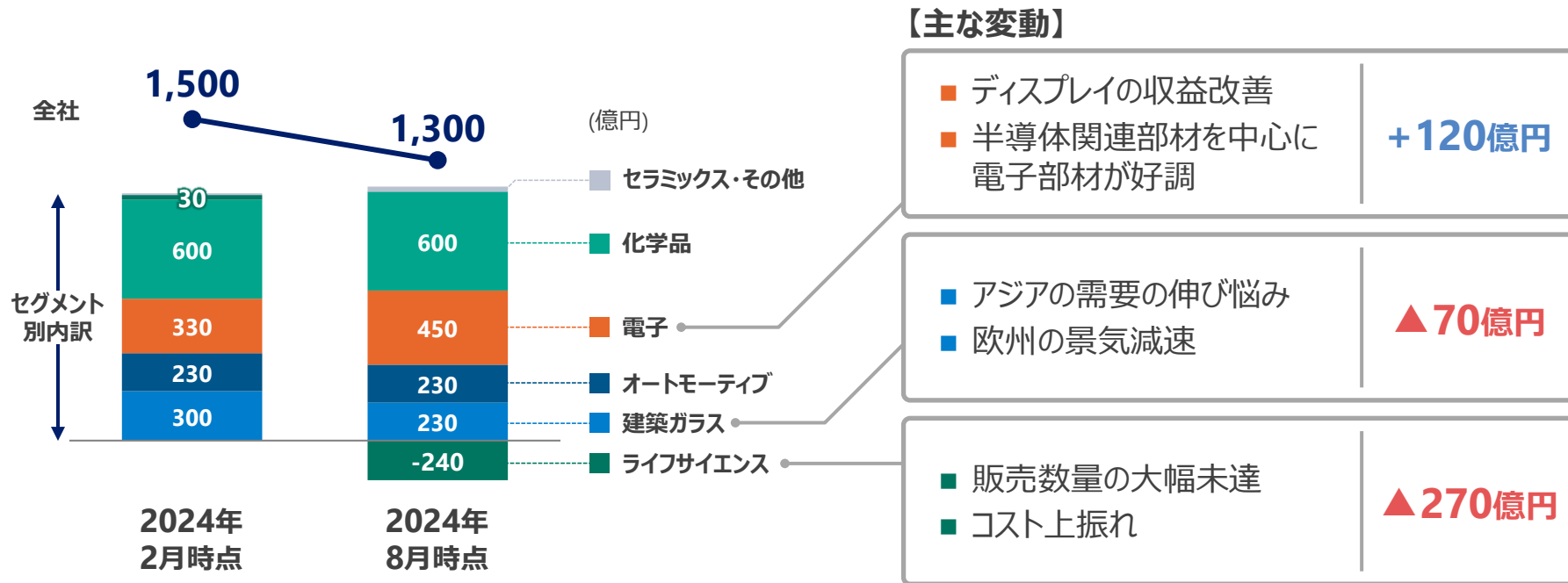
セグメント別 売上高/営業利益見通し

(億円)

	FY2023 (a)		FY2024e (b) 通期予想(8/1予想)		増減 (b)-(a)		FY2024e (c) 通期予想(2/7予想)		増減 (b)-(c)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,763	328	4,600	230	▲ 163	▲ 98	4,600	300	+ 0	▲ 70
 オートモーティブ	4,997	218	5,100	230	+ 103	+ 12	5,100	230	+ 0	+ 0
 電子	3,132	184	3,500	450	+ 368	+ 266	3,300	330	+ 200	+ 120
 化学品	5,741	648	6,200	600	+ 459	▲ 48	6,200	600	+ 0	+ 0
 ライフサイエンス	1,268	▲ 124	1,300	▲ 240	+ 32	▲ 116	1,400	30	▲ 100	▲ 270
 セラミックス・その他	834	33	900	30	+ 66	▲ 3	800	10	+ 100	+ 20
消去	▲ 542	1	▲ 600	0	▲ 58	▲ 1	▲ 400	0	▲ 200	+ 0
連結合計	20,193	1,288	21,000	1,300	+ 807	+ 12	21,000	1,500	+ 0	▲ 200

営業利益見通し修正 セグメント別内訳

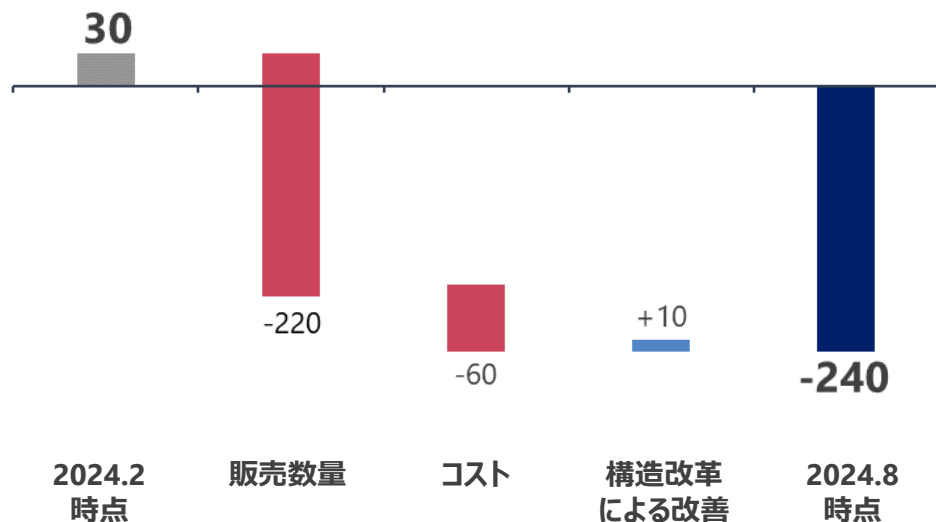
- 電子は期初想定を上回るものの、ライフサイエンスおよび建築ガラスが期初想定を下回り、業績予想を下方修正



補足：ライフサイエンス事業の今期見通し下方修正要因

- バイオ医薬品CDMO事業において、当初想定から大幅な販売数量の減少とコストの増加が見込まれることにより、2024年営業利益見通しを下方修正

ライフサイエンス24年営業利益見通し（単位：億円）



- バイオベンチャーへの資金流入減の長期化やデンマーク増設工事の遅れ等に伴い、契約済み案件の遅延や新規案件の受注が低迷し、販売数量が大幅未達
- 労務費上振れ、コスト削減目標の見直しによるコスト増
- 米国を中心に人員削減を行うも、今期の効果は約10億円にとどまる

2024年下期 見通し(vs 2024年上期)



建築ガラス

アジア

- 日本で省エネガラスの改修需要が増加することに加え、タイとインドネシアで需要が回復することにより、当社の出荷は堅調に推移

欧米

- 景気低迷に加え、ロシア事業譲渡による減収影響を受けるものの、価格政策やコスト低減が収益を下支え



オートモーティブ

- 自動車生産台数および当社グループの出荷は、欧米では季節性により減少する一方、アジアで改善
- 当社グループの出荷は全体として上期並みの見込み



電子

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷は上期並みの見込み
- ディスプレイ用特殊ガラスはスマートフォン市場が需要期となるため、出荷が堅調に推移

電子部材

- EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連製品は出荷が増加
- オプトエレクトロニクス用部材はスマートフォン市場が需要期となるため、出荷が堅調に推移

2024年下期 見通し(vs 2024年上期)



化学品

エッセンシャルケミカルズ

- 東南アジアの需要は堅調に推移するものの、中国経済低迷により市況は低水準で推移

パフォーマンスケミカルズ

- 半導体向け、輸送機器向けフッ素関連製品の需要増により、出荷が増加



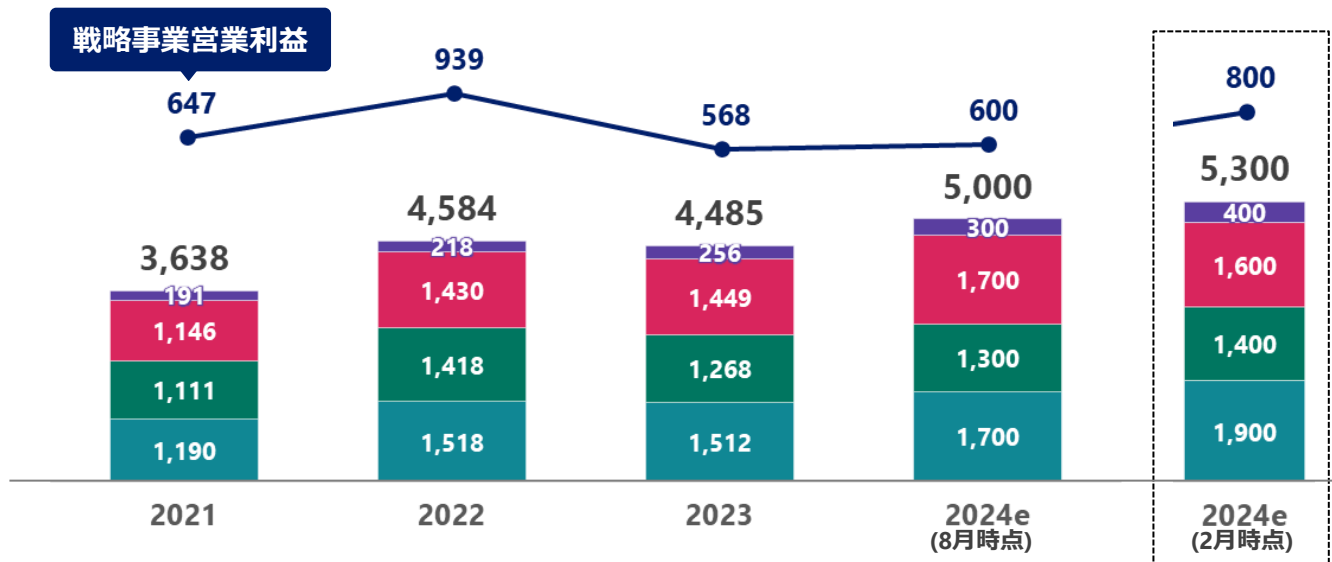
ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMOの受託売上は増加する見込み
- バイオ医薬品CDMOは、バイオベンチャーへの資金流入減の影響継続も、立ち上げが遅延していた米国新規ラインの稼働上昇や、欧州の増設設備の稼働開始により受託売上増加

- エレクトロニクスの半導体関連製品やパフォーマンスケミカルズを中心に売上が伸長
- ライフサイエンスの損益悪化の影響を受け、営業利益は前年比で微増益に留まる見込み

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向けの高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材

ライフサイエンス

- 合成医薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO

パフォーマンスケミカルズ

- 多業界向け高機能フッ素製品

設備投資額・減価償却費・研究開発費の見通し

年間	FY2023	FY2024e
設備投資額	2,317	2,500
建築ガラス	247	350
オートモーティブ	263	200
電子	514	400
化学品	877	1,160
ライフサイエンス	399	370
セラミックス・その他	18	20
消去	▲ 1	0

年間	FY2023	FY2024e
減価償却費	1,753	1,850
建築ガラス	244	250
オートモーティブ	319	340
電子	532	550
化学品	501	530
ライフサイエンス	139	170
セラミックス・その他	21	10
消去	▲ 2	0

(億円)

年間	FY2023	FY2024e
研究開発費	573	600

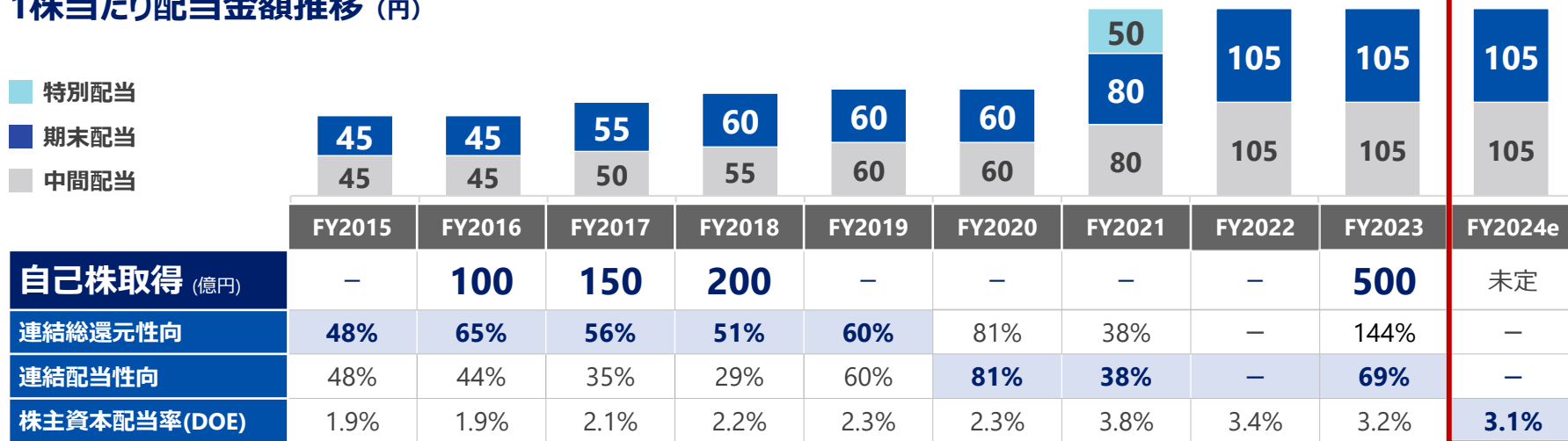
主な 設備投資 案件

- 東南アジアクローラルカリ能力増強 (化学品)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- バイオ医薬品CDMO能力増強 (ライフサイエンス)
- 電子部材関連製造設備増強 (電子) など

■ 2024年度の配当予想は変更せず

1株当たり配当金額推移 (円)

■ 特別配当
■ 期末配当
■ 中間配当



株主還元方針

総還元性向**50%**以上、機動的に自己株取得

連結配当性向**40%**を目安に安定配当、
機動的に自己株取得

資本配当率**3%**程度を目安に安定配当、自己株取得は総合的に判断

中期経営計画 *AGC plus-2026* 進捗

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'G' and 'C'.

AGC株式会社

2024年8月1日

Your Dreams, Our Challenge

1. AGCグループの価値創造に向けた取り組み

AGCグループの価値創造に向けた中長期の取り組み

2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

コーポレート・ トランスフォーメーション 第一章

既存事業を「コア事業」、
成長分野での新事業群を
「戦略事業」と定義し、
両利きの経営を推進

コーポレート・ トランスフォーメーション 第二章

事業ポートフォリオ改革の
方向性を明確にし、
さらに加速することを宣言

2030年のありたい姿

独自の素材・ソリューションの
提供を通じて**サステナブルな**
社会の実現に貢献するとともに
継続的に成長・進化する
エクセレントカンパニーでありたい

2030年のありたい姿実現に向けたステップ

- **AGC plus-2026** では「2030年のありたい姿」の実現に向け、コーポレート・トランスフォーメーション (CX) を加速し、企業価値を最大化

コーポレート・トランスフォーメーション

第一章 第二章

2021 - フェーズ 1

AGC plus-2023

2024 - フェーズ 2

AGC plus-2026

2027 - フェーズ 3

2030年の
ありたい姿

“両利きの経営”の進化

- サステナビリティ経営の深化
- 価値創造DXの推進
- 経営基盤の強化

2026年度目標

営業利益	戦略事業営業利益
2,300億円以上	50%以上
ROE	D/E比率
8%以上	0.5以下

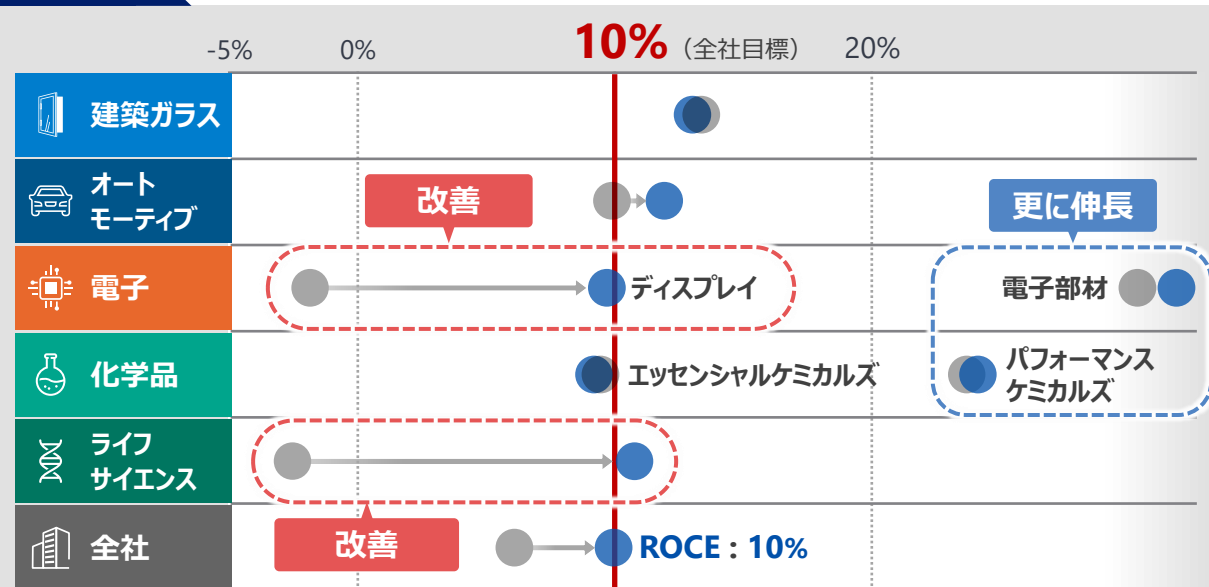
独自の素材・ソリューションの提供を通じてサステナブルな社会の実現に貢献するとともに継続的に成長・進化するエクセレントカンパニーでありたい

営業利益	戦略事業営業利益
3,000億円以上	60%以上
ROE	D/E比率
安定的に10%以上	0.5以下

AGC plus-2026: “両利き経営の進化”の進捗

2024年2月発表

ROCE ● 2023年実績 vs ● 2026年度見込み(24年2月時点)



ROCE = (当年度営業利益予想) ÷ (当年度末営業資産残高予想)、
全社営業利益は共通費配賦後、事業別の営業利益は共通費用配賦前

現在の状況

- 成長・戦略事業である電子部材・パフォーマンスケミカルズは順調に推移
- ディスプレイ事業の収益改善など、他事業も概ね計画どおり進捗
- ライフサイエンス事業の成長軌道への回帰が最大の課題

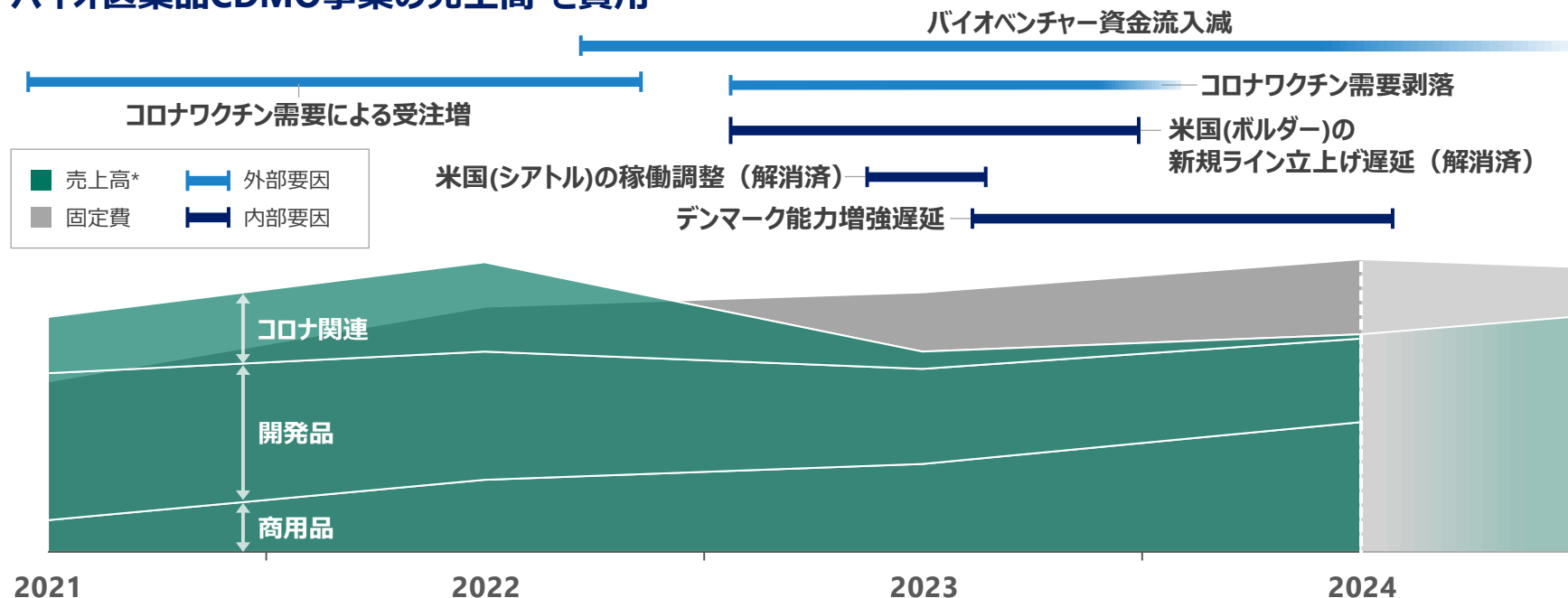
- ディスプレイ事業収益改善については順調に進捗も、ライフサイエンス事業は想定を大きく下回る

事業		現状	
	ディスプレイ	2023  → 現時点 	価格政策、構造改革、生産性改善の進展により収益改善
	ライフサイエンス	2023  → 現時点 	バイオ医薬品CDMOが不調。米国新規ラインの立ち上げは進むも、全般的に受託が伸び悩み、デンマーク増設による費用増加もあり <u>損益悪化</u>

バイオ医薬品CDMO事業の業績悪化の要因

- バイオ医薬品CDMO事業能力増強による固定費増加の一方、売上高が伸びず収益悪化

バイオ医薬品CDMO事業の売上高*と費用

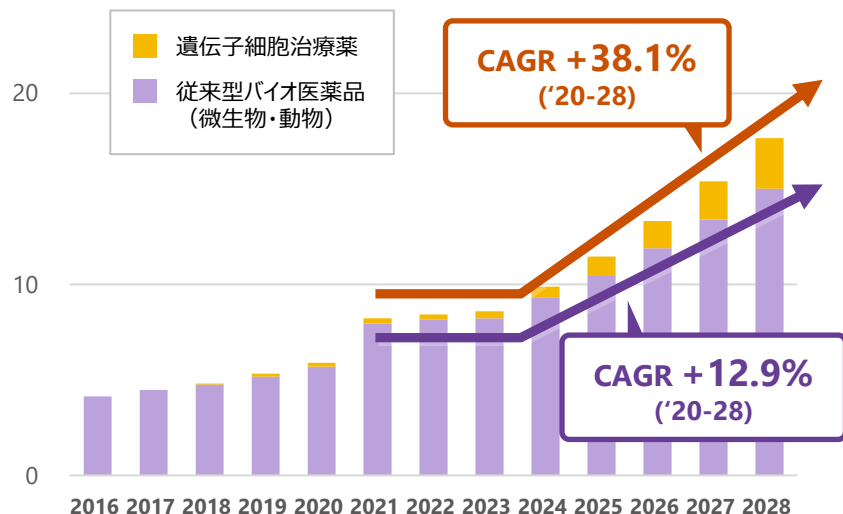


* 原材料分の売上は含まない

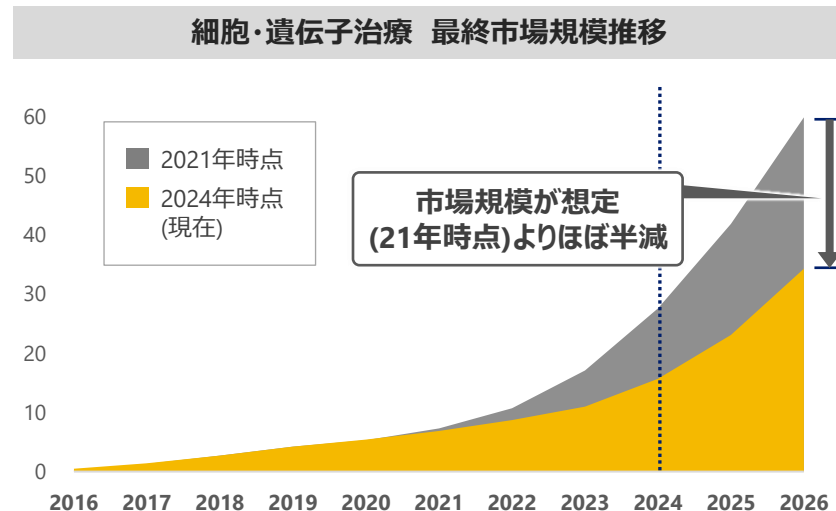
バイオ医薬品CDMO市場の状況

- バイオ医薬品CDMO市場の回復は遅れているが、長期的には市場規模拡大の基調に変化はない
- 遺伝子・細胞治療については市場の立ち上がりが大幅に遅れている

バイオ医薬品CDMO市場規模推移 (10億ドル) *



遺伝子・細胞治療市場予測の変化 (10億ドル) *



- バイオ医薬品CDMO事業の売上拡大およびコスト削減に向けて抜本的な対策を実行
- 業界 2 番手のSUB*能力を最大限に活用

構造改革等による 固定費削減

- 米国を中心とした人員削減
- 生産体制の適正化

オペレーションの改善

- 米国オペレーションの安定化(実施済)
- デンマーク増設設備の稼働
- 開発・エンジニアリング等のグループリソース活用

マネージメント・ 営業体制強化

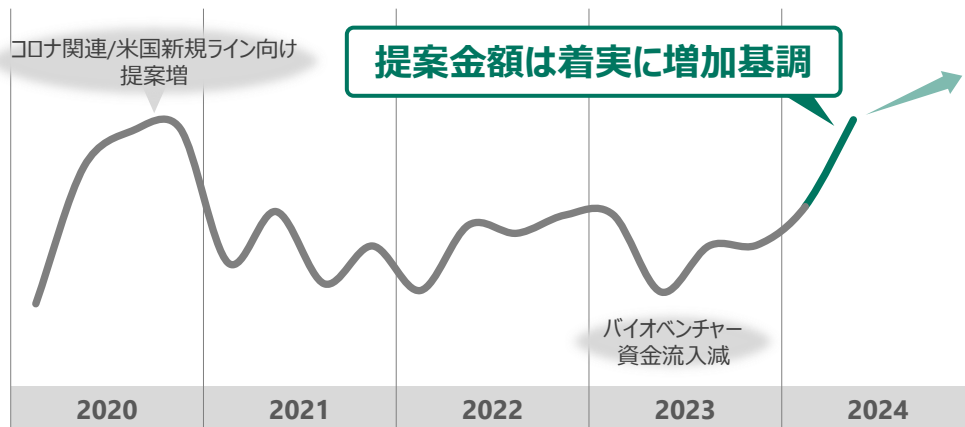
- 幹部刷新による体制強化
- マーケットインテリジェンス強化
- 製剤サービス付加による競争力向上(実施済)

ライフサイエンス事業の中長期的な業績見通し

- 今後の売上の先行指標となる見積もり提案金額は増加傾向で、回復の兆し
- バイオ医薬品CDMO事業を2026年までに着実に利益が出る体制とし、
ライフサイエンス事業の営業利益を次期中計期間中の早期に300億円を超える水準を目指す

お客様への見積もり提案(金額)*推移

* 売上金額の先行指標。受注から一定期間(通常1-2年)後に売上計上



23年下期～24年上期をボトムに
回復見込み

今中計期間中に黒字化

次期中計期間の早期に
営業利益 300億円達成へ

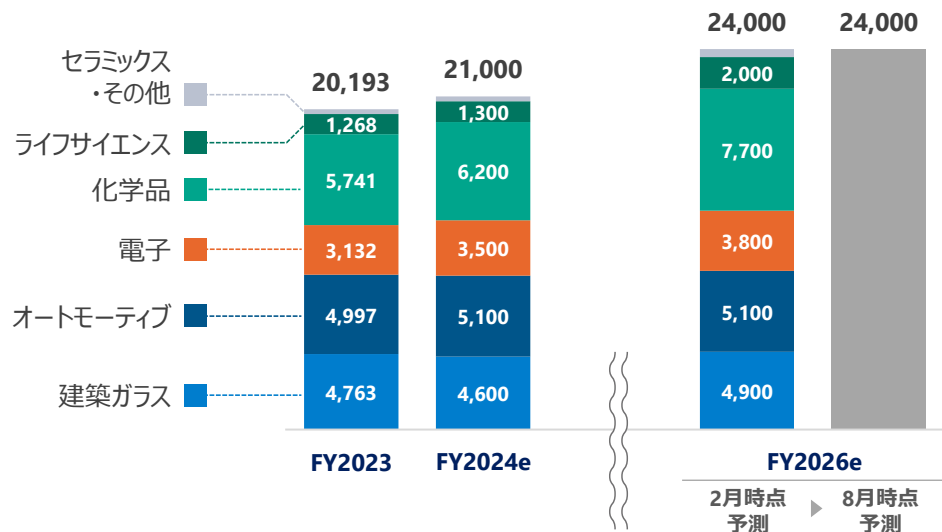
2. 現中計期間の業績見通し



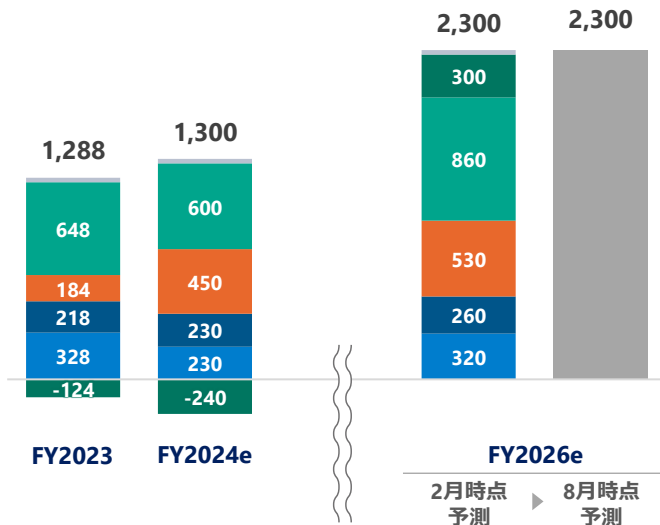
セグメント別 業績イメージ

- 現中期経営計画（**AGC plus-2026**）最終年度の全社営業利益目標は変更せず
- ライフサイエンスは当初計画に対し大幅未達も電子等でカバーし達成を目指す

売上高（億円）



営業利益（億円）



AGCブランド ステートメント

易きになじまず難きにつく
人を信ずる心が人を動かす
世界に冠たる自社技術の確立を
開発成功の鍵は使命感にあり

AGCは、この創業の精神を礎に、
お客様とゆるぎない信頼関係を築きながら、
独自の素材とソリューションで、
時代のトップランナー達を支えてきました。

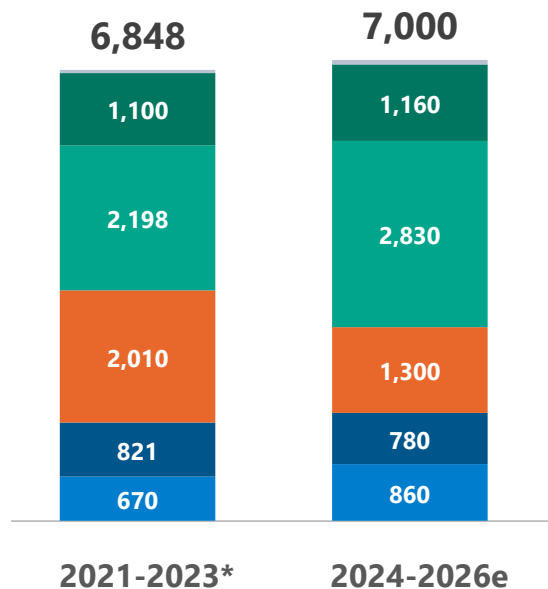
私たちはこれからも、互いの知見や技術を掛け合わせ、
人々の想いの先、夢の実現に挑んでいきます。

Your Dreams, Our Challenge

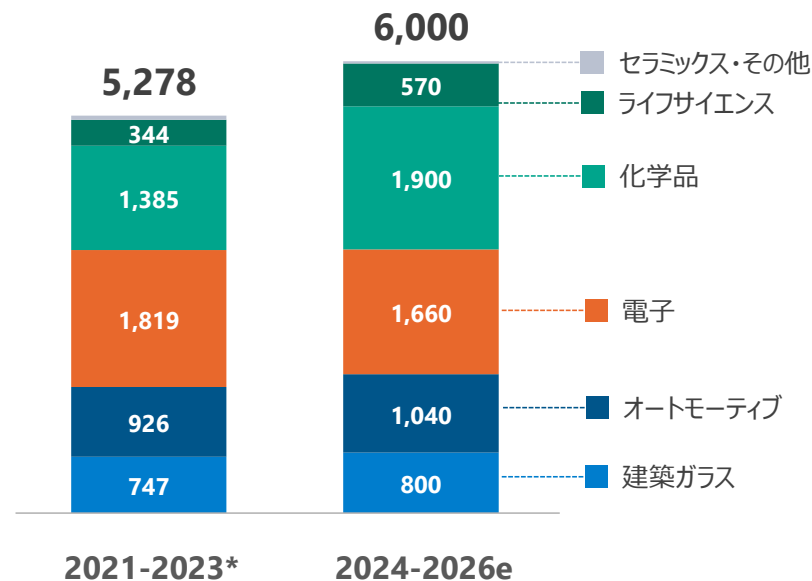


付属資料

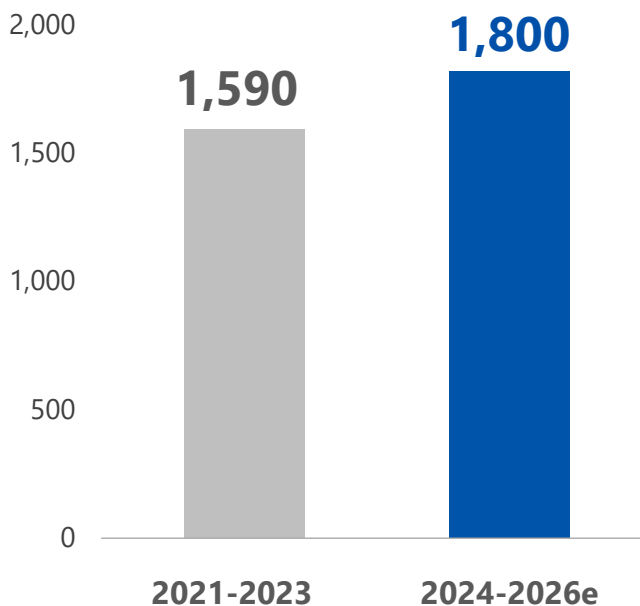
設備投資（億円）



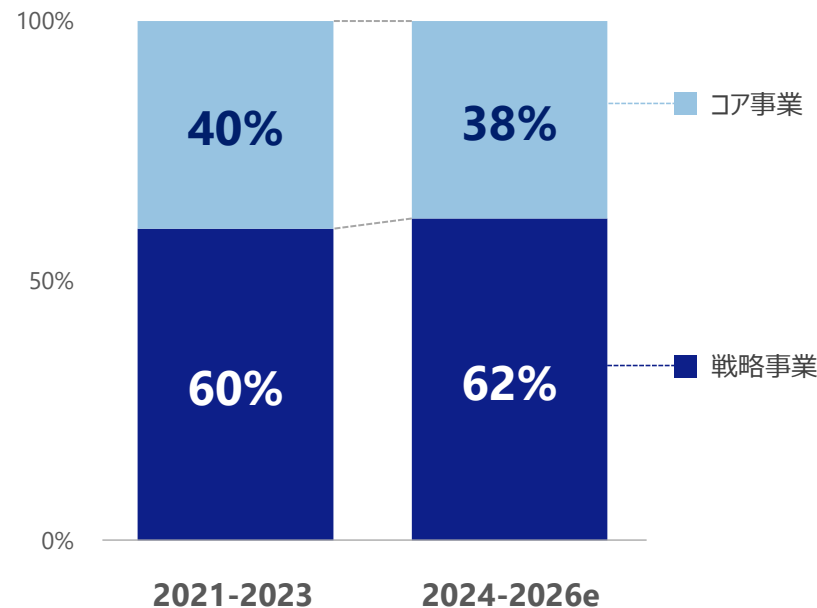
減価償却費（億円）



研究開発費（億円）



研究開発費構成比（%）



セグメント別 ROCE・EBITDA

(億円)

	営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産	
	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023
 建築ガラス	327	328	566	572	10.9%	10.6%	3,000	3,100
 オートモーティブ	▲ 98	218	227	537	▲3.0%	6.4%	3,300	3,400
 電子	147	184	830	715	2.6%	3.1%	5,650	6,000
 化学品	1,261	648	1,736	1,148	23.3%	10.4%	5,400	6,200
 ライフサイエンス	169	▲ 124	284	15	6.7%	▲4.3%	2,500	2,900
 セラミックス・その他	37	33	56	55	18.4%	16.7%	200	200
消去ほか	▲ 3	1	▲ 4	0	—	—	—	—
合計	1,839	1,288	3,696	3,041	9.2%	5.9%	20,050	21,800

営業利益に対するインパクト



為替

1%円安で

6億円*増益

*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の影響額



原油

1バレルあたり

1ドル上昇した場合

2.8億円*減益

*ヘッジ影響除く



化学品 市況

① 苛性ソーダ

国際市況が\$1上がると**\$1M**の増益

② 塩ビスブレッド

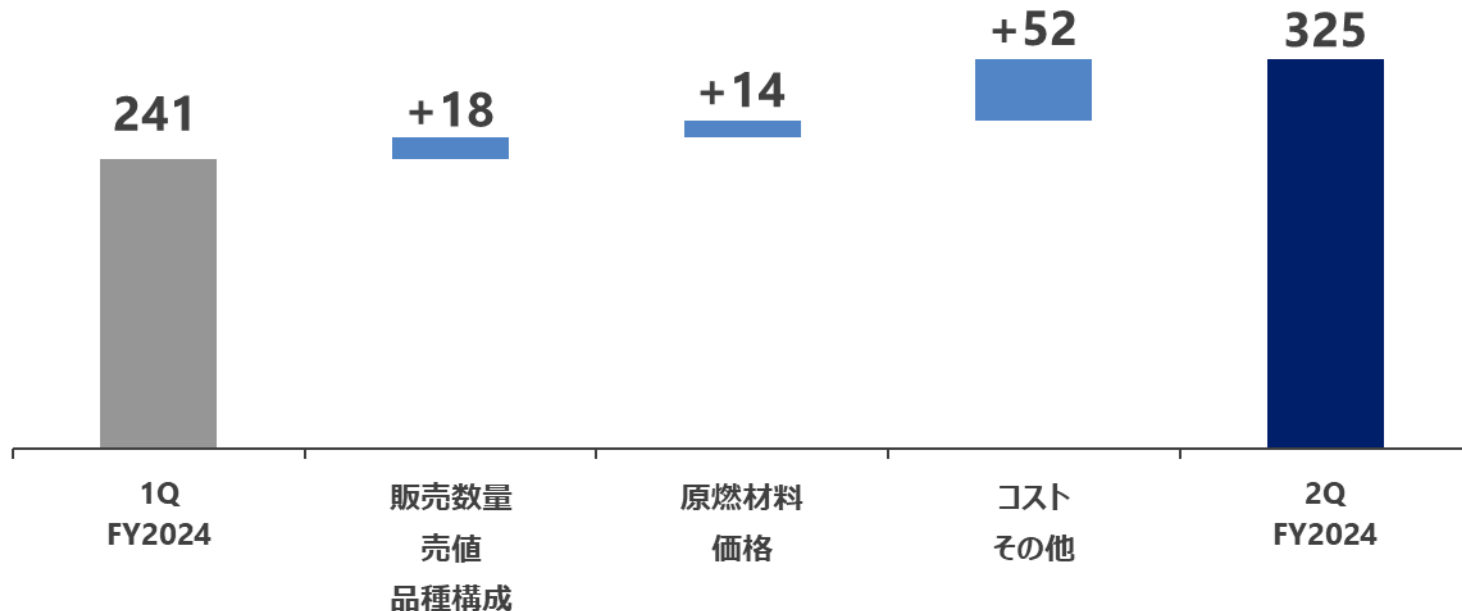
\$1上がると**\$1.2M**の増益*

*塩ビスブレッド：塩ビ市況－（エチレン市況×0.5）

営業利益増減要因分析(2Q.FY2024 vs. 1Q.FY2024)

前四半期比 84億円増益

(億円)



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	2Q FY2024	386	76	675	8	1,144
	2Q FY2023	386	73	728	5	1,192
 オートモーティブ	2Q FY2024	609	297	372	▲ 1	1,277
	2Q FY2023	604	252	365	1	1,223
 電子	2Q FY2024	734	128	2	4	868
	2Q FY2023	642	71	3	2	717
 化学品	2Q FY2024	1,312	84	64	8	1,468
	2Q FY2023	1,261	83	62	13	1,418
 ライフサイエンス	2Q FY2024	65	69	173	4	311
	2Q FY2023	79	90	177	2	348
 セラミックス・その他	2Q FY2024	116	-	4	105	224
	2Q FY2023	85	-	-	110	195
消去	2Q FY2024	-	-	-	▲ 128	▲ 128
	2Q FY2023	-	-	-	▲ 132	▲ 132
合計	2Q FY2024	3,222	654	1,289	-	5,165
	2Q FY2023	3,057	568	1,336	-	4,961

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	1-2Q FY2024	739	143	1,353	12	2,247
	1-2Q FY2023	759	146	1,487	6	2,398
 オートモーティブ	1-2Q FY2024	1,191	577	749	1	2,519
	1-2Q FY2023	1,206	475	723	2	2,407
 電子	1-2Q FY2024	1,430	252	4	7	1,693
	1-2Q FY2023	1,259	148	7	5	1,419
 化学品	1-2Q FY2024	2,581	166	139	19	2,904
	1-2Q FY2023	2,504	166	136	22	2,828
 ライフサイエンス	1-2Q FY2024	122	147	347	20	636
	1-2Q FY2023	158	162	348	13	680
 セラミックス・その他	1-2Q FY2024	205	-	6	213	424
	1-2Q FY2023	170	-	-	224	394
消去	1-2Q FY2024	-	-	-	▲ 271	▲ 271
	1-2Q FY2023	-	-	-	▲ 273	▲ 273
合計	1-2Q FY2024	6,268	1,285	2,598	-	10,152
	1-2Q FY2023	6,055	1,098	2,700	-	9,853

業績推移 (1)

建築ガラス	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	(億円)
売上高	1,205	1,192	1,150	1,216	1,103	1,144	
アジア	373	386	401	424	352	386	
欧米	831	802	745	785	746	750	
(セグメント間)	1	5	4	7	5	8	
営業利益	93	93	83	59	42	60	
オートモーティブ	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	
売上高	1,184	1,223	1,255	1,335	1,242	1,277	
オートモーティブ	1,183	1,221	1,255	1,335	1,240	1,278	
(セグメント間)	1	1	1	0	1	▲1	
営業利益	48	54	59	56	48	58	
電子	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	
売上高	702	717	835	878	825	868	
ディスプレイ	358	425	418	406	428	473	
電子部材	341	290	414	468	394	391	
(セグメント間)	4	2	3	4	3	4	
営業利益	19	11	69	85	72	128	

業績推移 (2)

化学品	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	(億円)
売上高	1,410	1,418	1,428	1,486	1,436	1,468	
エッセンシャルケミカルズ	1,009	999	1,002	1,018	1,005	1,006	
パフォーマンスケミカルズ	391	407	414	457	421	453	
(セグメント間)	9	13	12	11	10	8	
営業利益	172	137	170	169	136	140	
ライフサイエンス	1Q FY2023	2Q FY2023	3Q FY2023	4Q FY2023	1Q FY2024	2Q FY2024	
売上高	332	348	238	350	325	311	
ライフサイエンス	321	346	235	337	309	307	
(セグメント間)	11	2	3	13	16	4	
営業利益	6	▲ 1	▲ 83	▲ 46	▲ 63	▲ 79	

数量・価格動向

				2023				2024	
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
前年同四半期比 (YoY)									
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	-1割弱	-1割	-数%	+1桁半ば	-10%台半ば	+1割弱
			価格	+約3割	+約3割	+3割弱	+2割強	+1桁半ば	-1桁半ば
		欧州* ²	数量	-10%台半ば	-10%台半ば	-数%	-1桁半ば	横ばい	+1割弱
			価格	+3割弱	-約1割	-約4割	-4割	-3割強	-3割
	自動車生産台数 (S&P global 7/8データより)	日本	数量	+13%	+27%	+13%	+12%	-13%	-5%
		北米	数量	+10%	+15%	+8%	+6%	+2%	+1%
		欧州* ²	数量	+25%	+16%	+5%	+6%	-3%	-5%
電子	ディスプレイパネル需要* ¹ (Omdia社)	グローバル	面積	-14%	+5%	+11%	-4%	+10%	+3%

*¹ 出典：Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 1Q24 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

*² 東欧を除く

		IFRS				
		19/12	20/12	21/12	22/12	23/12
売上高	百万円	1,518,039	1,412,306	1,697,383	2,035,874	2,019,254
営業利益	百万円	101,624	75,780	206,168	183,942	128,779
営業利益率	%	6.7	5.4	12.1	9.0	6.4
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	44,434	32,715	123,840	△ 3,152	65,798
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	3.9	2.9	10.2	△ 0.2	4.6
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	4.4	3.1	7.9	6.7	4.5
自己資本比率	%	50	44	49	49	49
D / E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.47	0.63	0.41	0.41	0.42
営業CF / 有利子負債	倍	0.32	0.29	0.54	0.33	0.31
一株当たり当期純利益 (EPS)	円	200.85	147.84	559.11	△ 14.22	304.73
一株当たり配当金	円	120	120	210	210	210
EBITDA *3	百万円	231,857	208,459	383,226	253,209	315,965
為替レート (期中平均)	円/ドル	109.05	106.82	109.80	131.43	140.56
	円/ユーロ	122.07	121.81	129.89	138.04	152.00

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

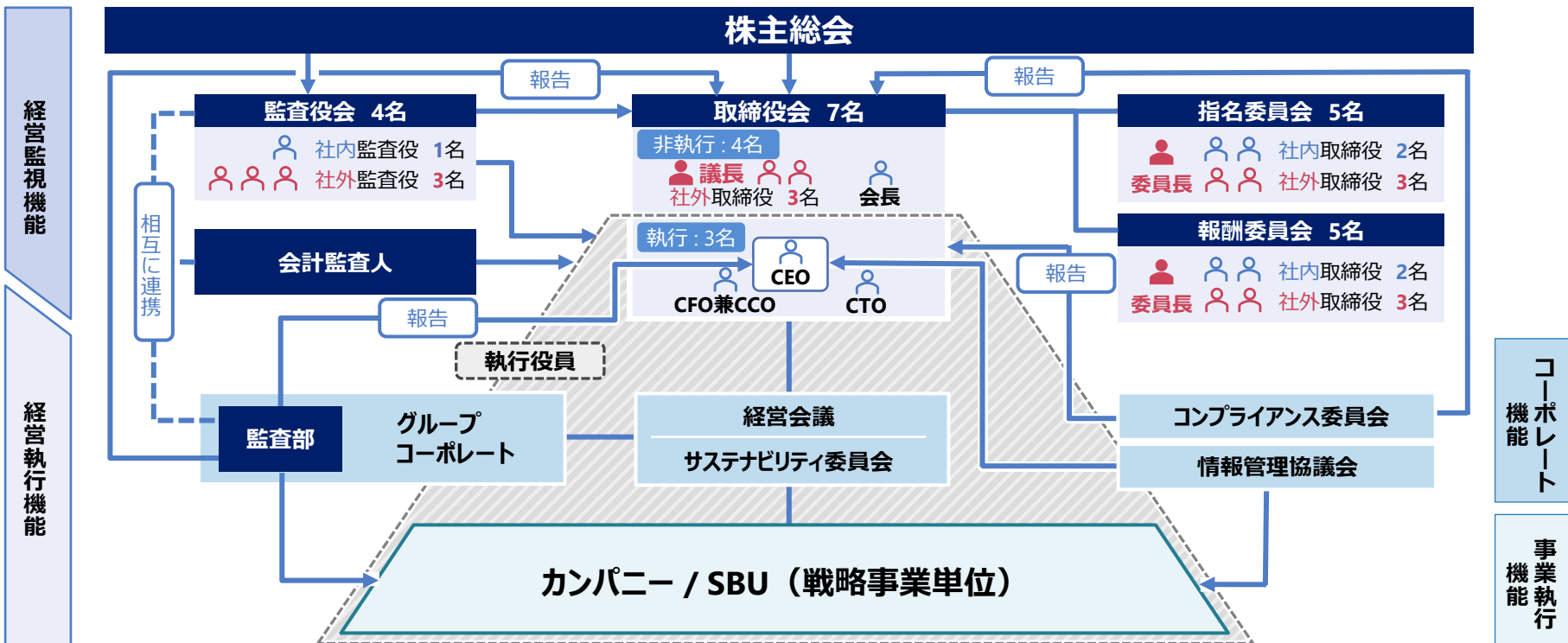
AGCグループの提供する社会的価値

- これまでAGCは、社会・産業の発展に貢献することで事業を拡大し、社会的価値を創出してきた



当社のコーポレートガバナンス体制の概要図

👤 : 社内出身の取締役又は監査役 👤👤 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役



 FTSE4Good	FTSE4Good Index Series に選定
 FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Index に選定
 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index に選定
	S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に選定
	CDP気候変動レポート2023 A-評価

 SCIENCE BASED TARGETS DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION	SBTi 温室効果ガス削減目標「WB2℃」認定取得
 NIKKEI Smart Work ★★★★ 2024	「第7回日経スマートワーク経営調査」4星の格付けを獲得
	EcoVadisサステナビリティ評価で高評価を取得
	Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2023 に選定
 DX銘柄2024 Digital Transformation	「DX銘柄2024」に選定

2024年 主要発表事項

発表日	内容
1月30日	グリーン水素製造に適したフッ素系イオン交換膜FORBLUE™ Sシリーズの製造設備を北九州市に新設
2月7日	取締役等に対する株式報酬の算定方法の改定について
2月7日	株主還元方針の変更に関するお知らせ
2月8日	新たな中期経営計画AGC plus-2026を策定
2月22日	投資単位の引下げに関する考え方及び方針等について
2月28日	ロシア事業の譲渡を完了
3月25日	太陽光パネルカバーガラスのリサイクル実証試験に成功
4月5日	建築用ガラスの環境製品宣言（EPD）を取得
4月23日	国内建築用ガラスの物流関連費および輸送条件を改定
5月7日	AGC Techno Glass (Thailand) Co., Ltd.の生産活動終了に関するお知らせ
5月28日	「DX銘柄2024」に選定

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



Your Dreams, Our Challenge